



こもれび

No 352

2026年6月30日

藤沢市立石川小学校

学校だより 7月号

校長 町田 一郎

小学校で学ぶこと

1学期もあっという間にまとめの時期です。新たなことを学び、身につけていく生活は、大人でもとても大変なこと。3ヶ月間、子どもたちは毎日新しいことにチャレンジし、最初はできなかったことも繰り返し練習してできるようになったり、友だちと一緒に励まし合って乗り越えたりと、一人一人大きく成長しました。個人面談ではそういった具体の話を共有させていただいているところです。終業式には一人ひとりの学習成果を「石川の子」としてお渡しします。

3年生以上は観点別の3段階評価がなされていますが、「できた」は頑張れなかったのでは決してなく、一人一人が粘り強く繰り返し頑張って当該学年の目標をクリアしたことの証です。「よくできた」だけが頑張った結果ではありません。たくさんの「できた」の背景にあるお子さんの粘り強い取り組みと頑張りを想像し、認め、ご家庭でもお子さんが前向きになる言葉をかけていただけたら嬉しく思います。

6月の朝会では体育委員会児童からの水泳学習に関する話のあと、石川小学校のめざす子ども像の一つである「ともに育つ子」について話をしました。「ともに育つ」ために「ともに学ぶ」のですが、「ともに学ぶ」とはどういうことなのか、そのよさは何なのか、私の考えと意見を伝えました。具体的には、

では、なぜみんな学校に来て勉強するの？

読み書き計算よりも大切な
みんなと一緒にないと勉強
できないことがあるから。

「ともに学ぶ」



- ・自分の考えをわかりやすく説明すること
- ・友だちの考えをよく聞いて、自分が思いもしなかったことや気づけなかったことを知り、自分の考えをよりよいものに変えていくこと
- ・自分ができたことやわかったことを友だちに教えることによって、自分の理解を深めていくことができること
- ・人は誰にでも必ずよいところがあり、それを丁寧に見つけていくこと
- ・相手の気持ちや立場を理解し、思いやりをもって行動すること
- ・みんなが楽しめるようルールなどを工夫し、一緒に楽しい時間を過ごすこと
- ・協力し合い、互いに支え合うこと

私たち教職員は、読み書き計算や運動などの「知識・技能」はもちろんのこと、その学習過程で「生きていくうえで大切なこと」を学び、身につけていくのが小学校の大きな役割であることを認識し、日々考えることを中心にした「ともに育つ」教育活動にあたっていきたいと思っています。

蒸し暑さとともに疲れも出てくる頃かと思います。サッカーワールドカップもいよいよ決勝トーナメントが始まりますが、大人も子どもも寝不足にならないよう注意したいものです。お子さんが元気で生き生きと1学期のまとめに取り組み、よい形で夏休みに入れますよう、引き続き「早寝早起き朝ご飯」を合い言葉に、土日も含めた健康管理についてご協力をお願いします。

学校教育目標

友だちいっぱい 夢いっぱい

にこにこバリバリ 汗いっぱい

めざす子ども像

ともに育つ子
豊かに表現する子
進んで活動する子
根気強く学ぶ子



7月の主な行事予定 詳しくは各学年だよりをご覧ください。



【災害時用飲料水の更新について】

大規模災害発災時、児童が長時間待機せざるを得ない場合の非常食（一人3食＋500mLの水2本）を学校で準備していますが、それとは別に藤沢市教委から各児童に500mLの水が1本配当備蓄されています。この度、この市教委配当の水の保存期限が近づいてきたことから更新されることとなりました。つきましては7月16日にお子さんに1本ずつ更新前の水（保存期限内のもの）を持ち帰らせますので、ご活用ください。

【傘の貸し出しと返却について】

傘を持たずに登校し下校時に雨が降っている場合、学校の傘を貸し出しています。返却の際は乾かしてから返すよう、児童には指導しています。借りた傘は雨の朝にさしてきて返すというのではなく、乾かしてから晴れの日にお持ちいただけますと次に借りる子も気持ちよく使えます。

【リーフレット「楽しい学校生活を送るために」】

セクシュアル・ハラスメント防止のため、藤沢市では小学校高学年向けにリーフレットを作成し、毎年4年生に配付しています。2次元コードを読み込んでいただき、ぜひお子様と一緒に内容をご確認ください。セクシュアル・ハラスメントなど、何か困ったことがあったときは、学校や相談機関に遠慮なくご相談ください。



【藤沢北警察署スクールサポーターさんから】

学校だよりに添付している「おおだこ通信」、お読みいただいているでしょうか。これは藤沢北警察署生活安全課のスクールサポーターさんが毎月作成してくださり、時節に合わせた注意喚起をしてくださっています。毎回学校にお届けくださるので、都度、地域安全に関しての情報交換をしています。その中で「不審者情報を得た場合は、学校を挟むのではなく直接警察に連絡していただきたい旨をご家庭等にお伝えください」というお話がありました。保護者が遭遇したのなら保護者から、お子さんが遭遇したのならお子さんから聞く情報が最も早く正確であり、間に人を挟めば挟むほど時間もかかり、伝言ゲームのように情報が変わっていつてしまうことがあるからだそうです。「警察に連絡することに少し抵抗はあるかもしれませんが、正確な情報をもとに素早く対応していくためにもご理解くださいますように」とのことでした。これまでも学校に不審者情報をいただいた場合は、まずは警察にご連絡いただくようお願いしてきました。学校へは事後報告として教えていただければ大丈夫です。状況に応じて注意喚起のすぐ一発を発信を検討いたします。

「おはようボランティア」大募集です

藤沢市教育委員会の推進事業の一つに「おはようボランティア」の活動があります。おはようボランティア活動は、挨拶ができる子の育成と登下校時の見守りが趣旨で、旗振りは義務ではありません。時間のあるとき腕章をつけていただきながら、ご自宅前など都合のよい場所で、また犬の散歩の時間などに、登下校する子どもたちへ挨拶のお声かけをしていただける方を随時募集しています。保護者の皆様の中で、またお知り合いの方で、趣旨に賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非教頭までお知らせください。おはようボランティアにご登録いただけますと、活動時の事故に対する保険に自動加入となります。年に数回でも大丈夫です。無理をしない、ライフスタイルに合った活動で、お知り合いの方とともに楽しみながら、地域の子どもたちに目を向けふれあいを深めていただけますと大変嬉しく思います。



【講演会・学習会のお知らせ】ご希望があればお申し込みください。



藤沢市教育文化センター 教育文化講演会 探究する心を育てるために ～身近な疑問が出発点に～

なぜ鳥たちは群れをつくるのでしょうか。インコはなぜ、人間の言葉をまねするのでしょうか。私たちが普段、何気なく見ているスズメやツバメやカラスなどの身近な鳥たちも、その生活を深く知れば知るほど、分からないことがいっぱい出てきます。

さて、探究することそのものを楽しむ心は、どのように育てていけばよいのでしょうか。鳥の研究の第一人者である、日本野鳥の会会長・立教大学名誉教授の上田先生のお話から一緒に考えていきましょう。

【講師】 上田 恵介 氏

動物行動学・進化生態学・鳥類学を専門とし、環境問題の研究にも取り組んでいらっしゃる第一人者です。野鳥を知ることを通じて、自然全体を知ることの大切さ、守ることの重要性、そして自然の生態系の仕組みなどを広く伝えています。研究者としての豊富な経験から語られるお話は、やわらかくわかりやすい解説として、「NHK ラジオ子ども科学電話相談」や、テレビ番組「ダーウィンが来た」でもおなじみです。

と き 8月19日(水) 14:00～16:00
(入場無料 手話通訳有)
ところ 湘南台文化センター 市民シアター
定 員 600人
申込方法 二次元コードもしくは電話
申込み 7月24日(金)～8月5日(水)
申込フォーム(二次元コード)より
電話 Tel (50) 8300
受付 平日 8:30～17:00



藤沢の子どもたちのためにつなげる会 みんなで学ぶ学習会

家族で学ぶ 心が強くなれる合気道の極意！ 護身術編

2025年度講演会『心が強くなれる合気道の極意！』では、参加された皆さんから「子どもと一緒に体験してみたい。」という声がたくさん寄せられました。そこで今年の夏休みは、親子やご家族、そして教職員の皆さんも一緒に楽しめる学習会を開催します。『護身術』と聞くと、どんなことを思い浮かべますか。実は、相手を投げることだけではありません。持っている力を最大限に発揮する合気道の極意から身近な危険への事前の備え方・防ぎ方を家族で共有しませんか？ぜひご参加ください。

《日時》2026年8月19日(水)
《時間》10:00～12:00
《場所》F プレイス(藤沢市民センター・労働会館等複合施設) 多目的室 1
《申し込み方法》右の二次元コードからお申込みください。(締切8/12)
《お問い合わせ》藤沢市教育総務課 PTA 担当 電話 0466-50-3556(直通)



講師：戸田 貴之 氏
心身統一合気道会 師範
要心館道場(湘南台)館長
神奈川県内の道場教室での指導の他、心身統一合気道会が主催する中高生向けの全国大会に金賞をはじめ上位入賞者を毎年輩出するなど青少年の育成にも力を入れる。

8月11日(火)～
15日(土)は
学校業務停止期間
です。

防犯交通安全課より

